

卸売業・小売業

使い捨てコンタクトレンズの空ケースの回収活動により、「環境保全」「障がい者の自立・就労の支援」「日本アイバンク協会への寄付の3つの社会貢献活動へつなげる。

<p>【目標】 空ケースの再資源化による環境保全</p>	 
<p>【主な取り組み】 使い捨てコンタクトレンズの空ケースを回収し、ゴミとして燃やしてしまうのではなく、リサイクルを行うことでCO2排出量を削減。再資源化された材料は、様々な製品に生まれ変わる。</p>	
<p>【目標】 障がい者の自立・就労支援</p>	 
<p>【主な取り組み】 アイシティの障がい者部門「市川チャレンジオフィス」では店舗や眼科で回収された空ケースのアルミシールをはがすなど、リサイクルの支援業務を行っている。また、就労の支援として全国の社会福祉施設で作られた手作り小物を年間8万個買い取り、ご協力いただいたお客様へ、お礼としてアイシティ店舗にてプレゼントしている。</p>	
<p>【目標】 (公財) 日本アイバンク協会への寄付</p>	
<p>【主な取り組み】 空ケースをリサイクル業者に買い取っていただいた収益を全額日本アイバンク協会へ寄付。アイバンク協会とは角膜の病気による視力障害の方の視力回復のために、角膜移植を待つ方とドナーの架け橋の役目を担っている。アイバンクへの献眼登録の普及活動や献眼希望者が亡くなった時に角膜の摘出医を手配する活動を行う。</p>	

高岡を持続可能なまちにするために

- ①アイシティecoプロジェクトでは高岡市・市内学校・市内企業といった様々な団体とのパートナーシップにより、回収拠点を増やし、2030年までに全国年間240tの空ケース回収を目標とする(12、17)
- ②プラスチックごみを削減するため、お客様にマイバックを推奨する。(14)
- ③定期的なSDGsの啓蒙イベントを継続し市民に意識醸成を行います。(4)